

設問 11	<p>実習生の実習に対するイメージと貴院における実習内容について乖離があった事例があれば、該当 LS と共に具体的にご回答下さい。</p> <p>例：実習生は、患者対応が実習の大部分を占めると考えていた (LS401~408)</p>
設問 12	<p>貴院における実務実習において、12-A) 問題点や課題、12-B) 特に工夫している点があればそれぞれ 2~3 件程度を目処に具体的にご回答ください (2~3 件程度以上をご回答頂いても結構です)。</p> <p>12-A) 問題点や課題</p> <p>12-B) 特に工夫している点</p>
設問 13	<p>現状における実習生に対する対応についてお伺いいたします。下記選択肢 a)~e)から、貴院における実習生対応の状況に最も近いものを選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>a) 全職員数に比較して少数の実習担当者がほとんど全てを対応する。</p> <p><input type="checkbox"/>b) 全職員数に比較して少数の実習担当者が大部分を担当し、他の職員が適宜フォローする。</p> <p><input type="checkbox"/>c) 少数の担当者がコーディネートを行い、実際の指導は各職員が行う。</p> <p><input type="checkbox"/>d) 特に担当は設けず、業務状況に応じて適宜対応する。</p> <p><input type="checkbox"/>e) その他 (具体的にご記載ください)</p>
設問 14	<p>14-A) 教員訪問時に大学に対して要望したい、あるいは要望した項目があれば、差し障り無い範囲で 5 例程度を上限に具体的にご回答ください。また、実際に要望した事項について大学側から具体的な対応があった場合にはその対応についても可能な範囲でご回答ください。</p>

	<p>14-B) 教官訪問時等に大学から要望された事項があれば、差し障り無い範囲で5例程度を目処に具体的にご回答下さい。また、大学側から要望に対して具体的な対応を行った場合にはその対応についても可能な範囲でご回答下さい。</p>
<p>設問 15</p>	<p>実務実習においては日報および SBOs 達成度が評価指標としてよく利用されますが、その運用方法についてお伺いします。</p> <p>15-A) 貴院において、日報および SBO の達成度はどのような手段で管理されていたかご回答下さい。大学により異なる場合は、該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>【実習日誌】</p> <p><input type="checkbox"/> 実習ノート（製本されたもの） <input type="checkbox"/> 実習ノート（バインダータイプ） <input type="checkbox"/> 管理用 WEB システム <input type="checkbox"/> 管理用 WEB 以外の電子媒体 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>【SBOs 達成度】</p> <p><input type="checkbox"/> 実習ノート（製本されたもの） <input type="checkbox"/> 実習ノート（バインダータイプ） <input type="checkbox"/> 管理用 WEB システム <input type="checkbox"/> 管理用 WEB 以外の電子媒体 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>15-B) また、それぞれについて便利であった点、不便であった点があればご回答下さい。</p>
<p>設問 16</p>	<p>16-A) 設問 15 に関連して、実習生の SBOs 評価と指導薬剤師の SBOs 評価の整合性について下記選択肢 a)～d)より最も近いものを選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> a) ほぼ一致していた <input type="checkbox"/> b) 一部評価が一致しない項目があった <input type="checkbox"/> c) 大部分の項目で一致していなかった <input type="checkbox"/> d) 不明・その他（具体的にご記載ください）</p> <p>16-B) 一致しなかったケースがあった場合、どの項目で一致しないことが多かったか、可能な範囲で該当する SBO 番号（あるいは LS 番号）も併せてご回答下さい。</p>

設問 17	<p>設問 15、16 に関連して、実習生の評価を行う上で困った点、改善が必要と思われる点があれば具体的にご回答下さい。</p>
設問 18	<p>18-A) 貴院における平成 23 年度の実務実習生の割り付け方法について、下記選択肢 a)～d)より該当するものを選択して下さい。複数該当する場合は該当する選択肢を全て選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>a) 実習調整機構を経由 <input type="checkbox"/>b) 実習調整機構を経由せず、大学と個別に調整 <input type="checkbox"/>c) a)と b)の両方 <input type="checkbox"/>d) その他</p> <p>18-B) 貴院における実習で用いた割付方法について便利な点、不便な点があれば具体的にご回答下さい。</p> <p>18-C) 設問 18-B) に挙げた a)～c)以外の方法で、より望ましいと考えられる実習生の割付方法に関してご意見があれば具体的にご回答下さい。 <i>例：実習内容を事前に公表し、実習生にある程度の選択の自由がある状態にする</i></p>
設問 19	<p>事前学習を効果的に行う上では、事前学習の担当教員が現実の臨床を熟知していることが望ましいと考えられます。また、一方で実習施設の指導薬剤師が実習生に実習指導を行うためには教育現場を体験することも有用であるとの意見もあります。現在、大学と実習施設の間では、例えば定期的な教員訪問、実習生の実習成果発表会への指導薬剤師の参加、といった形で連携が図られていることが多くなっています。</p> <p>そこで、貴院における大学との連携状況についてお伺いいたします。</p> <p>19-A) 貴院で行われている大学との連携について、下記選択肢 a)～c)より該当するものを選択して下さい。複数該当する場合は該当する選択肢を全て選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>a) 担当教員の実習施設訪問（概ね 3 回程度） <input type="checkbox"/>b) 実習生の実習成果発表会への参加 <input type="checkbox"/>c) その他（具体的にご回答下さい。）</p>

19-B) また、海外では大学教員自身が臨床現場での薬剤業務を定期的に行う、あるいは薬局薬剤師と大学教員が共同で実習生の課題研究の指導を行う、といった人材交流が行われている例もあります。今後我が国においてもこのような人材交流は望ましいと思われますか？

- a) 望ましいと思う
- b) どちらかと言えば望ましいと思う
- c) どちらかと言えば望ましくないと思う
- d) 望ましくないとおもう

19-C) 実習施設と大学の（人材）交流について、何かご意見があれば具体的にご回答下さい。

以上、大変お忙しい中アンケート調査ご協力賜わり、誠にありがとうございました。

添付資料3
薬局向けアンケート調査票

「薬剤師教育における実務実習指導薬剤師及び実務家教員に関する実態把握」

アンケート調査票（薬局用）

回答者*): 薬局名 _____ 氏名 _____

連絡先 _____

*): 本研究の成果発表時には一切公表いたしません。空欄でも結構です。

設問 1	1-A) 貴局の薬剤師数をご回答下さい。 1-B) その中で、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師数をご回答下さい。	1-A) 名 1-B) 名
設問 2	貴局の一ヶ月間の処方箋枚数をご回答下さい。	枚
設問 3	貴局の平成 23 年度実務実習における実習生の受入人数をご回答下さい。	I 期 名 II 期 名 III 期 名
設問 4	<p>4-A-1) 貴局において平成 21 年度以前（6 年制課程の実務実習実施以前）に薬学部学生・大学院生を実習生として受け入れていた経験はおありでしょうか。 <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない <input type="checkbox"/>不明 <i>※実習生受入とは、連続 1 週間以上の受入とご解釈下さい。また、研究室配属の学生は対象外として下さい。</i></p> <p>4-A-2) 前問で「ある」と回答された場合は実習期間と受け入れ人数をご記載ください。 <i>例：2 週間実習を年間 5 名程度、など</i></p> <p>4-B-1) 貴局において平成 23 年度までに卒後研修生（旧 4 年制課程卒業者）を受け入れていた経験はおありでしょうか。 <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない <input type="checkbox"/>不明 <i>※卒後研修生受け入れとは、連続 2 ヶ月以上の受け入れとご解釈ください。</i></p> <p>4-B-2) 前問で「ある」と回答された場合は実習期間と受け入れ人数をご記載ください。 <i>例：6 ヶ月研修を年間 10 名程度、など</i></p>	
設問 5	<p>5-A) 差し障り無ければ、貴局に大学から支払われる実習費（1 日単位での支払いの場合は実習期間全体に換算してください）の内訳をご回答ください。大学により実習費が異なる場合は回答欄 2 段目以降をご利用ください。不明の場合は最下段の「不明」のチェックボックスをチェックして下さい。</p> <p>① 万円が 名 ② 万円が 名 ③ 万円が 名 ④ 万円が 名 <input type="checkbox"/> 不明</p> <p>5-B) 貴局における実習費の主な使用用途を箇条書きにてご回答ください。店舗毎での管理となっていない等の理由で不明の場合は下段の「不明」のチェックボックスをチェックして下さい。 <i>例：人件費、書籍購入費、パソコン購入費、など</i></p> <p><input type="checkbox"/> 不明</p> <p>5-C) 設問 5-B)にてご回答頂いた支出は実習費で賅うことが可能でしょうか。 <input type="checkbox"/>十分な額面である <input type="checkbox"/>実習費の支出とほぼ釣り合っている <input type="checkbox"/>不足している <input type="checkbox"/>不明・該当せず</p>	

設問 6 :

今後、薬剤師はチーム医療の中でどのような役割を担うべきか、アンケート回答者のお考えをご回答下さい(設問 6-A)。また、そのような役割を果たすために必要となる能力・知識についてもご回答下さい(設問 6-B)。

なお、回答の負担を軽減する目的で、昨年度までの調査で比較的多く見受けられた回答内容を選択肢に設定させて頂きましたが、その他にも必要と考える項目があれば自由記載欄にご記載ください。

(本設問は、実務実習を含めた薬剤師教育のあり方を考える上で、目標となる薬剤師の理想像に関して考察することを目的としております。)

6-A) 薬剤師が関与すべき役割・業務内容に関する設問となります。下記選択肢 a)~e)より回答者のご意見に最も近いものを選択してください。

- a) 主たる実施者として関与すべきであり、現在も大きく関与している
- b) 主たる実施者として関与すべきであるが、現在はあまり関与していない
- c) 現在、主たる実施者として大きく関与しているが、関与の必要性について検討すべきである
- d) 現在、主たる実施者としてあまり関与しておらず、積極的に関与すべき役割では無いと考える
- e) その他 (具体的なご意見を回答欄に御記載ください)

関与すべき役割・業務内容	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 処方箋による調剤	/	/	/	/	/	
1-a) 処方監査・疑義照会						
1-b) 薬剤の取り揃え、秤量・分包など						
1-c) 調剤薬鑑査 (最終鑑査)						
1-d) 患者への服薬指導						
1-e) 薬歴の記録						
1-f) 診療報酬請求						
2. セルフメディケーションへの関与	/	/	/	/	/	
2-a) 一般用医薬品第 1 類の販売・情報提供・相談応需						
2-b) 一般用医薬品第 2 類、第 3 類、医薬部外品の販売						
2-c) 医療機器の供給・販売						
2-d) 健康食品・サプリメントの販売						
2-e) 健康相談 (医師への受診勧奨含む)						
3. 在宅医療への関与						
4. 地域での医療連携への関与						
5. 地域医療・福祉向上への関与	/	/	/	/	/	
5-a) 学校薬剤師としての業務						
5-b) 集団を対象とした薬に関するセミナーの開催						
5-c) 薬物乱用防止への貢献						
6. 災害時の医薬品供給						

6-A) 自由記載欄

6-B) 設問 6-A)でご回答頂いた役割を担うために必要となる能力・知識に関する設問となります。下記選択肢 a)～e)より回答者のご意見に最も近いものを選択してください。

- a) 今後も必要な能力・知識であり、現時点で多くの薬剤師が十分な能力・知識を有している
- b) 今後、必要な能力・知識であるが、現時点では十分な能力・知識を有する薬剤師は少ない
- c) 多くの薬剤師が十分な能力・知識を有しているが、今後の薬剤師にとっての必要性は低いと思われる
- d) 十分な能力・知識を有する薬剤師は少ないが、今後の薬剤師にとっての必要性も低いと思われる
- e) その他（具体的なお意見を回答欄に御記載ください）

必要となる能力・知識	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 薬剤に関する知識	/	/	/	/	/	
1-a) 作用機序						
1-b) 適応疾患・用法・用量・禁忌						
1-c) 副作用情報						
1-d) 相互作用・配合変化						
1-e) 同種同効薬、後発品						
1-f) 一般薬、健康食品、サプリメント						
2. 疾患の診断や治療に関する知識	/	/	/	/	/	
2-a) 疾患のメカニズム						
2-b) 標準的な診断・治療（ガイドライン）						
3. 基礎科学（有機化学、分析化学、物理化学、生化学など）						
4. 基礎医学（生理学、解剖学、病理学など）						
5. 薬理学、薬物動態学、薬剤学						
6. 臨床統計学・疫学						
7. 薬事関連法規、医療法など関連法規						
8. 診療報酬など保健医療に関する知識						
9. 情報収集能力・論文読解能力（英語力も含む）						
10. 研究立案・遂行能力						
11. コミュニケーション能力・人間性						
12. 医療従事者としての心構え・倫理観・責任感						
13. 他の医療従事者の業務内容に関する理解						

6-B) 自由記載欄

以下の設問 7～19 は、現時点における長期実務実習の実態把握を目的としております。特に設問中に記載が無い場合は平成 23 年度の実務実習を対象としてご回答ください。

設問 7：

実務実習事前学習に関してお問い合わせいたします。

7-A) 次ページ以降の表には文部科学省ホームページに示されている“薬学実習モデル・コアカリキュラム”中の実務実習事前学習方略をお示ししております*)。本方略は事前学習の到達目標を示したものであり、大学においては CBT や OSCE によりその到達度が試験されておりますが、実習受入施設の指導者の実感についてはほとんど調査が行われておりません。

そのため、そのようなデータを収集するため、貴局において受け入れた実習生の事前学習の進捗状況についてご回答をお願いいたします。下記選択肢より回答者の実感に近いものを選択して下さい。なお、大学による達成度の差がある場合は該当する選択肢全てを選択して下さい。また、項目により指導者が異なる場合も多いと思われませんが、そのようなケースでは複数の回答者でご対応頂いても結構です。

- a) 事前学習で習得すべき内容であり、ほとんどの実習生が習得している
- b) 事前学習で習得すべき内容であるが、習得が不十分な実習生もいる
- c) 事前学習で習得すべき内容であるが、ほとんどの実習生が習得していない
- d) 実務実習方略に含まれない内容のため、習得状況は不明
- e) 事前学習で習得すべき（可能な）内容であるか疑問である
- f) その他（具体的に記載をお願いします。）

7-B) 設問 7-A) に示した実務実習事前学習方略には含まれないが事前学習（あるいは事前学習以前の教育課程）で実習生が習得することが強く期待される項目があれば自由記載欄に御記載ください。

*) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/022/toushin/04052401/002/001.htm

実務実習モデル・コアカリキュラム－実務実習事前学習方略の学習内容

(1) 事前学習を始めるにあたって

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《薬剤師業務に注目する》								
S101	◎医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。							
S102	◎医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。							
S103	◎薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議する。							
《チーム医療に注目する》								
S104	◎医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。							
S105	◎チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。							
S106	◎自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度)							
《医薬分業に注目する》								
S107	◎医薬分業の仕組みと意義を概説できる。							

(2) 処方せんと調剤

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《処方せんの基礎》								
S201	◎処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。							
	◎処方オーダーリングシステムを概説できる。							
S202	◎処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。							
S203	◎調剤を法的根拠に基づいて説明できる。							
	◎代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。(技能)							
S204	◎不適切な処方せんの処置について説明できる。							
《医薬品の用法・用量》								
S205	◎代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。							
S206	◎患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)							
S207	◎患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。							
	◎患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)							
S208	◎病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。							
《服薬指導の基礎》								
S209	◎服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。							
《調剤室業務入門》								
S210	◎代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。(技能)							
	◎処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)							
	◎処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)							
	◎調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)							
S211	◎処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。(態度)							

(3) 疑義照会

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《疑義照会の意義と根拠》								
S301	◎疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。							
S302	◎代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。							
	◎特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)							
S303	◎不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。							
《疑義照会入門》								
S304	◎処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。							
S305	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。							
	◎疑義照会の流れを説明できる。							
S306	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。							
	◎疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)							

(4) 医薬品の管理と供給

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《医薬品の安定性に注目する》								
S401	◎医薬品管理の意義と必要性について説明できる。							
S402	◎代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。							
《特別な配慮を要する医薬品》								
S403	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
S404	◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
S405	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。							
	◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
S406	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。							
	◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
S407	◎麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)							
	◎代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。							
	◎放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
《製剤化の基礎》								
S408	◎院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。							
S409	◎薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。							

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
S410	◎代表的な院内製剤を調製できる。(技能)							
S411	◎無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)							
	◎抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能)							
《注射剤と輸液》								
S412	◎注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。							
	◎代表的な配合変化を検出できる。(技能)							
S413	◎代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。							
	◎体内電解質の過不足を判断して補正できる。(技能)							
《消毒薬》								
S414	◎代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。							
	◎消毒薬調製時の注意点を説明できる。							

(5) リスクマネジメント

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《安全管理に注目する》								
S501	◎薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。							
S502	◎誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。							
S503	◎院内感染の回避方法について説明できる。							
《副作用に注目する》								
S504	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。							
S505	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。							
《リスクマネジメント入門》								
S506	◎誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。							
	◎リスクを回避するための具体策を提案する。(態度)							
S507	◎事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)							

(6) 服薬指導と患者情報

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《服薬指導に必要な技能と態度》								
S601	◎患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。							
S602	◎代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。							
	◎代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。							
S603	◎インフォームドコンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)							
	◎適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)							
S604	◎医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)							
	◎患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。							

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《患者情報の重要性に注目する》								
S605	◎服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。							
	◎患者背景、情報（コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など）を把握できる。（技能）							
	◎医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。							
	◎患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。							
《服薬指導入門》								
S606	◎代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。（知識・技能）							
	◎共感的態度で患者インタビューを行う。（技能・態度）							
	◎患者背景に配慮した服薬指導ができる。（技能）							
	◎代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。（技能）							

(7) 事前学習のまとめ

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
S701	◎代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。（技能）							
	◎疑義照会をシミュレートする。（技能・態度）							
	◎処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。（技能）							
	◎処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。（技能）							
	◎調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。（技能）							
	◎患者背景に配慮した服薬指導ができる。（技能）							

設問7 自由記載欄：実務実習事前学習方略で不足している項目

<p>設問 8</p>	<p>事前学習が実施されていることにより、特に学生の受け入れや実務実習がスムーズに行なえた事例があれば具体的に 2～3 例程度を目処にご回答ください。また、該当する事前学習の LS があれば、例に倣って LS 番号も併せてご回答ください (2～3 例以上をご回答頂いても結構です)。 <i>例：患者特性に合わせた投与量調整の知識を持っており、小児処方箋の解説がスムーズに行なえた。(LS207)</i></p>
<p>設問 9</p>	<p>9-A) 実際に貴局で実習生を指導する上で、事前学習 (あるいは事前実習以前の教育課程) の理解が不十分であることに主に起因する困った事例があれば、具体的に 2～3 例程度を目処にご回答ください。また、該当する事前学習の LS があれば、例に倣って LS 番号も併せてご回答ください (2～3 例以上をご回答頂いても結構です)。 <i>例：基本的な処方せんの記事様式に関する知識が不十分であり、その補完に時間を要した。(LS202)</i></p> <p>9-B) 設問 9-A) でご回答頂いた他に、実習生の指導上困ったことがあれば、具体的に 2～3 例程度を上限にご回答ください (2～3 例以上をご回答頂いても結構です)。 <i>例：遅刻・欠席が多く、予定していた実習内容を消化しきれなかった。</i></p>

設問 10 :

次ページ以降の表には文部科学省ホームページに示されている“薬学実習モデル・コアカリキュラム”中の薬局実習方略をお示ししておりますが^{*}、現時点において、実際にどの程度、薬局実習方略に沿った形で実務実習が行われているかは十分なデータが集積されておられません。また、カリキュラム内容に関する実習施設の意見を広く集積・解析したデータも非常に限られております。そこで、貴局において行われた病院実務実習において、薬局実習方略に示された実習内容がどの程度実施可能であったか、ご回答をお願いいたします。

^{*}) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/022/toushin/04052401/002/003.htm

10-A) 各 SBOs のカリキュラム上の扱いとして、下記選択肢 a)～e)より回答者のご意見に最も近いものを選択して下さい。

- a) 薬局実務実習において習得すべき内容であり、全ての薬局で行われるべきである。
- b) 薬局実務実習において習得すべき内容ではあるが、薬局の状況に合わせて実施は判断する、あるいは近隣薬局に依頼するなどの手段を検討すべきである。
- c) 事前学習までに習得しておいて欲しい内容である。
- d) 主として卒後実習で習得すべき内容と考える。
- e) その他（具体的に回答欄にご記載ください）

10-B) 各 SBOs の貴局における実施状況について、下記選択肢 a)～e)より最も近いものを選択してください。なお、実習生により状況が異なる場合は平均的な進捗をご回答下さい。また、項目により指導者が異なる場合もあるかと思われませんが、そのようなケースでは複数の回答者でご対応頂いても結構です。

- a) 自施設において十分に実施できた。(時間の延長も含む)
- b) 自施設において実施したが、業務の現状などに合せて、適宜内容・時間を縮小した
- c) 自施設において実施が困難なため、近隣薬局や同一系列薬局の他店舗への依頼、あるいは地域の薬剤師会単位での集合研修で対応した
- d) 当該内容については実施していない
- e) その他（具体的に回答欄にご記載ください）

10-C) 貴局において独自に実施している実習内容があれば、下の自由記載欄に御記載ください。

例：訪問薬剤管理指導に関連して、ケアプラン策定の打ち合わせにも参加できるようにしている等

--

LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	時間	備考	設問 10-A					設問 10-B					
					a)	b)	c)	d)	e)	内容	a)	b)	c)	d)	e)
P206	◎問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能)	演習	90×3	報告書の様式は自由											
P207	◎医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に必要事項を記載できる。(知識・技能)	演習・実習	90×2												
《情報の提供》															
P208	◎入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	演習	90×2												
P209	◎入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)	演習	90×3												
P210	◎患者および医薬品に関連する情報の授受と共有の重要性を感じとる。(態度)	討議	90×3												

(3) 薬局調剤を実践する

LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	時間	備考	設問 10-A					設問 10-B					
					a)	b)	c)	d)	e)	内容	a)	b)	c)	d)	e)
《保険調剤業務の全体の流れ》															
P301	◎保険調剤業務の全体の流れを理解し、処方せんの受付から調剤報酬の請求までの概要を説明できる。 ◎保険薬局として認定される条件を、薬局の設備と関連づけて具体的に説明できる。	説明・見学	90×2												
《処方せんの受付》															
P302	◎処方せん（麻薬を含む）の形式および記載事項について説明できる。	説明・実習	90×2												
	◎処方せん受付時の対応および注意事項（患者名の確認、患者の様子、処方せんの使用期限、記載不備、偽造処方せんへの注意など）について説明できる。														
	◎初来局患者への対応と初回質問表の利用について説明できる。														
P303	◎初来局および再来局患者から収集すべき情報の内容について説明できる。	説明	90×1												
P304	◎処方せん受付時の対応ができる。(技能・態度)	実習	90×7		見学 (5分×12枚) →ロールプレイ(新患、再来など15分×6ケース) →実際に(15分×20ケース)										
	◎生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する。(態度)														
	◎患者が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)														
	◎患者との会話などを通じて、服薬上の問題点（服薬状況、副作用の発現など）を把握できる。(技能)														
《処方せんの鑑査と疑義照会》															
P305	◎処方せんが正しく記載されていることを確認できる。(技能)	実習	90×2												
	◎処方せんに記載された処方薬の妥当性を、医薬品名、分量、用法、用量、薬物相互作用などの知識に基づいて判断できる。(知識・技能)														
P306	◎薬歴簿を参照して処方内容の妥当性を判断できる。(知識・技能)	実習	90×2	15分×12枚											
P307	◎疑義照会の行い方を身につける。(知識・態度)	説明・見学	90×1												

LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	時間	備考	設問 10-A					設問 10-B				
					a)	b)	c)	d)	e)	内容	a)	b)	c)	d)
P308	◎疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。(技能・態度)	演習(ロールプレイ)	90×1	全期間を通じてあった薬剤師の見学する。										
《計数・計量調剤》														
P309	◎薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙できる。	説明・実習	90×1											
P310	◎処方せんの記載に従って正しく医薬品の取りそろえができる。(技能)	実習・演習	90×10	錠剤、カプセル剤の処方せんを標準30枚以上。ただし、学生の到達度に応じて変更する。										
	◎錠剤、カプセル剤などの計数調剤ができる。(技能)													
	◎代表的な医薬品の剤形を列挙できる。													
	◎医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる。													
	◎代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる。													
	◎同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる。													
	◎異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる。													
	◎代表的な同種・同効薬を列挙できる。													
	◎代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる。(技能)													
P311	◎一回量(一包化)調剤を必要とするケースについて説明できる。	説明・実習	90×1											
	◎一回量(一包化)調剤を実施できる。(技能)													
P312	◎錠剤の粉碎、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)	説明・実習	90×1											
P313	◎散剤、液剤などの計量調剤ができる。(技能)	説明・実習	90×5	散剤、液剤の処方箋を標準10枚以上。ただし、学生の到達度に応じて変更する。										
	◎調剤機器(秤量器、分包機など)の基本的取扱いができる。(技能)													
P314	◎毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤と取扱いができる。(技能)	実習	90×1											
	◎特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する。(技能)													
P315	◎自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。	説明・演習	90×2	医療廃棄物の処理など										
《計数・計量調剤の鑑査》														
P316	◎調剤された医薬品に対して、鑑査の実務を体験する。(技能)	説明・実習	90×3											
《服薬指導の基礎》														
P317	◎適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる。(知識・技能)	説明・演習	90×1											

LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	時間	備考	設問 10-A					設問 10-B				
					a)	b)	c)	d)	e)	内容	a)	b)	c)	d)
P318	◎薬歴管理の意義と重要性を説明できる。	説明・演習	90×5											
	◎薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる。(知識・技能)													
	◎薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。													
P319	◎妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる。	説明	90×1											
P320	◎患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。(技能)	説明・実習	90×2											
《服薬指導入門実習》														
P321	◎指示通りに医薬品を使用するように適切な指導ができる。(技能)	見学・実習	90×12	STEP #1 : 見学 STEP #2 : シミュレ- ート										
	◎薬歴簿を活用した服薬指導ができる。(技能)													
	◎患者向けの説明文書を使用した服薬指導ができる。(技能)													
	◎お薬手帳、健康手帳を使用した服薬指導ができる。(技能)													
《服薬指導実践実習》														
P322	◎患者に共感的態度で接する。(態度)	実習	90×40	STEP #3 指導薬剤 師指導下 での実践 (実際に する)										
	◎患者との会話を通じて病態、服薬状況(コンプライアンス)、服薬上の問題点などを把握できる。(技能)													
	◎患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる。(技能・態度)													
	◎患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する。(技能・態度)													
	◎入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)													
《調剤録と処方せんの保管・管理》														
P323	◎調剤録の法的規制について説明できる。	説明	90×1											
	◎調剤録への記入事項について説明できる。													
	◎調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。													
P324	◎調剤後の処方せんへの記入事項について説明できる。	説明	90×0.5											
P325	◎処方せんの保管、管理の方法、期間などについて説明できる。	説明	90×0.5											
《調剤報酬》														
P326	◎調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる。(技能)	説明・演習	90×5											
P327	◎薬剤師の技術評価の対象について説明できる。	説明・演習	90×2											
《安全対策》														
P328	◎代表的な医療事故訴訟あるいは調剤過誤事例について調査し、その原因について指導薬剤師と話し合う。(知識・態度)	討議	90×1											
P329	◎名称あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる。	説明・実習	90×2											
P330	◎特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列挙できる。	説明・実習	90×1											
P331	◎調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる。	説明・実習	90×1											
P332	◎調剤中に過誤が起りやすいポイントについて討議する。(態度)	討議	90×1											
	◎過誤が生じたときの対応策を討議する。(態度)													
P333	◎インシデント、アクシデント報告の記載方法を説明できる。	講義・演習	90×1											

